

## 編集後記

本誌は、情報系センターに関わる内容を扱うオリジナル論文誌で、今回で第 13 号を刊行するに至りました。原稿を寄稿された著者の皆様方、ならびに関係者各位には改めて感謝いたしたいと存じます。

原著論文審査にあたっては、編集委員の皆様をはじめ、多くの方々のご協力により実施することができました。ご多忙の中、貴重な時間を割いて、迅速な査読を行っていただいた編集委員の方々に、心から敬意と感謝の念を表したいと存じます。

また、第 4 回情報系センター研究交流・連絡会議および第 13 回学術情報処理研究集会の運営委員・実行委員の皆様には、会議・集会の計画策定にあたり大変お世話になりました。深く感謝いたします。

今回掲載された論文は、迷惑メール対策やネットワークの異常検知手法など情報系センターが日々頭を悩ましている問題への対策から、ネットワークを利用した障害者支援や安否情報システム・出席管理システムの開発など、大学における情報系センターの役割が高度化・多様化しているのに伴い、業績も多様でレベルも非常に高いものでした。

これらの研究成果は、一般の学術論文誌の論文と同様に貴重なものであり、全国の情報系センターにおける諸問題の解決に役立つ貴重なノウハウを提供するものであるとともに、大学運営や地域貢献において、情報系センターが特徴ある成果を挙げていくことが可能であることを示すものであります。情報系センターの存在意義をより確固たるものにしていくという意味においても、今号(第 13 号)を含め、論文誌「学術情報処理研究」における研究成果の蓄積は大変貴重なものであります。今後とも、全国の情報系センターが、高度化・多様化する課題に応じていけるように、交流や情報交換の機会を持ち、切磋琢磨しながらともに発展していくことを願ってやみません。

本誌の構成は、原著論文 12 編（うち学術情報処理研究集会での口頭発表 12 編）、学術情報処理研究集会予稿 8 編、学術情報処理研究集会報告、巻頭言、センター紹介、議事要旨や会議の報告等を含む大変充実した内容となっております。最後にこのような素晴らしい学術情報処理研究誌の刊行にあたり、印刷・出版、広報など多くの業務を担当していただいた、中村先生、吉崎先生をはじめとする秋田大学の皆様へ、心から感謝の意を表して結びといたします。

「学術情報処理研究」

編集委員会主査 豊永 昌彦†

---

### 「学術情報処理研究」編集委員会

主査	豊永 昌彦 (高知大学)	大嶋 誠 (大分大学)
	高橋 隆行 (福島大学)	中村 雅英 (秋田大学)
	佐々木 正人 (高知大学)	吉田 和幸 (大分大学)
	本田 修啓 (福島大学)	吉崎 弘一 (秋田大学)

---

† 高知大学 〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目 5-2 toyonaga@is.kochi-u.ac.jp